

太田川ダムの洪水調節効果について
(6月18～19日梅雨前線停滞による豪雨)

6月21日

袋井土木事務所

6月18日の梅雨前線停滞による豪雨により、森町を流れる二級太田川水系太田川上流の太田川ダム（森町亀久保）では、24時間雨量で230.6mm（18日13時～19日11時）を記録しました。

19日の午前3時24分には、ダム地点で毎秒60.55m³の最大流入量を記録し、毎秒32.87m³をダムから放流し、残りをダムに貯留しました。今回の豪雨で、太田川ダムでは最大で毎秒27.68m³の洪水を調節し、下流の天方、市場橋地点（森町町市場）で、ダムがない場合と比較して、天方で11cm、市場橋で5cm低下させることができ、ダムの洪水調節効果が発揮されました。

太田川ダム 洪水波形

H22.6.18 ~ H22.6.19

雨量

